



3月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和4年3月1日

卒園・入園に向けて、ガーデニングクラブのお母様方が、園舎前の花壇や園庭のプランターに色とりどりのお花の苗を植えてくださいました。早いものでガーデニングクラブ発足から20年が経ちました。園にお花が咲いているのは当たり前の光景のようですが、これもお母様方が子どもたちのために、代々引き継いで活動してくださっているおかげです。

さて、今年度のわくわくキッズコンサートは、初めての動画配信ということで、皆様ご覧になられていかがでしたでしょうか。いつものコンサートでしたら保護者の皆様に前に、嬉しさと同時に、少々緊張感を持ちながら立派に発表する姿が見られていました。今回は撮影カメラを前に不思議な面持ちでおりましたが、それぞれの学年これまでの音楽活動の成果を、無事発表することができました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策に翻弄された年ではありましたが、子どもたちはこれまで取り組んできた活動を工夫して行ってききましたので、それぞれの時期に大切なことは経験（習得）できていることと思います。

私たちの教員研修などもリモートで受講できたり、コロナ禍ならではの開催ではありましたが、貴重な学びを得ることができたことも事実です。これからの時代、身近なツールを活用してできることはできるということを実感しております。こども園でも、SNS（FacebookやYouTube、Instagramなど）で、お子様の園での様子などもお気軽にお知らせしていけるよう考えているところであります。便利な世の中ですが、人と人が顔を合わせてのコミュニケーションを取ることは重要ですし、特に乳幼児期は人の表情で、相手の感情を感じ取る能力の土台が形成される時期ですので、早くマスク生活からの解放を願うばかりですね。

3月3日のひな祭りは「桃の節句」ともいわれ、女の子の成長を祝う日です。お内裏様（おだいらさま）お雛様（おひなさま）三人官女（さんにんかんじょ）五人囃子（ごにんばやし）など、人形や物の名前を知ること、日本の伝統行事に親しむことが出来ます。今年も、さくら組では恒例の桜餅作りをします。桃の花や菜の花を飾って、桜の葉の香りを嗅ぎながら春の訪れを感じ、美味しくいただきたいと思います。

今年は3月21日（月）が「春分の日」です。昼と夜の長さが同じでこれから夏至にかけて少しずつ昼が長く夜が短くなっていきます。春分の日の3日前からの7日間を「春の彼岸」、春分の日を「彼岸の中日」ともいいます。国民の祝日である「春分の日」は「自然をたたえ、生き物をいつくしむ」ためとし、1948年（昭和23年）に定められました。暖かくなってきた日差しを感じながら、身近なところで春を探してみましょ。

今年度もコロナ禍でいろいろな制限があった中、保護者の皆様には温かいご理解とご協力をいただき、保育を進めることが出来ました。心より感謝申し上げます。